

## しまね web モニターアンケート調査結果

- 1 実施期間 令和5年7月20日(水)～7月29日(土)
- 2 対象者数 928名(7月12日現在のしまね web モニター数)
- 3 回答数 545名
- 4 回答率 58.7%
- 5 調査結果概要

### (1) 回答者について

性別では女性が59.8%と男性より多く回答した。地域別でみると、松江市、出雲市など県東部在住者が7割を占めた。年齢別では40代が23.1%と最も多く、次いで50代、30代が続くが、最も少なかったのは20代以下で7.0%であった。

性別	回答数	回答率
男性	215	39.4%
<b>女性</b>	<b>326</b>	<b>59.8%</b>
その他、未選択	4	0.7%
計	545	100.0%

年齢	回答数	回答率
20代以下	38	7.0%
30代	112	20.6%
<b>40代</b>	<b>126</b>	<b>23.1%</b>
50代	118	21.7%
60代	96	17.6%
70代以上	54	9.9%
未選択	1	0.2%
計	545	100.0%

地域	回答数	回答率
松江市	227	41.7%
出雲市	129	23.7%
浜田市	39	7.2%
益田市	31	5.7%
大田市	27	5.0%
安来市	21	3.9%
江津市	21	3.9%
雲南市	16	2.9%
津和野町	7	1.3%
吉賀町	5	0.9%
隠岐の島町	4	0.7%
奥出雲町	3	0.6%
美郷町	3	0.6%
邑南町	3	0.6%
西ノ島町	3	0.4%
飯南町	2	0.4%
川本町	1	0.2%
海士町	0	0.0%
知夫村	0	0.0%
未選択	3	0.6%
計	545	100.0%

## (2) サービス利用の有無と利用頻度

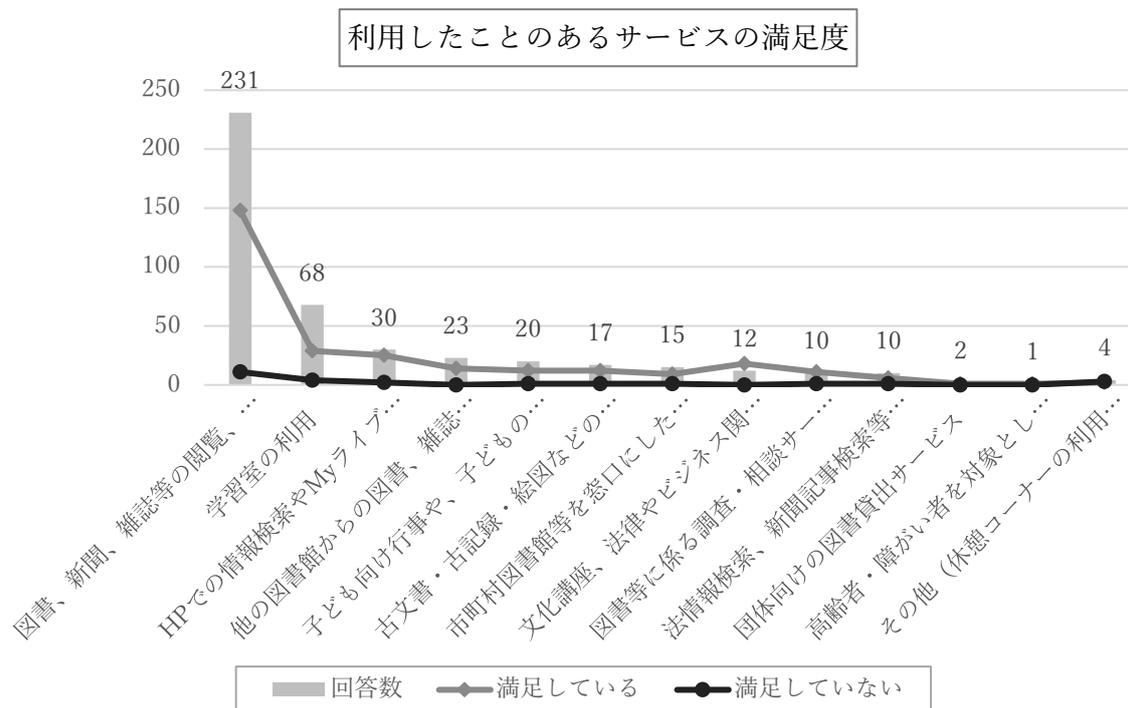
回答者 545 人のうち、図書館のサービスを利用したことがある人は 47.3%で、このうち利用頻度については、年に 1 回から数回程度という人が特に多く 54.6%であった。

サービス利用の有無	回答数	回答率	サービスの利用頻度	回答数	回答率
ある	258	47.3%	年に数回程度	72	27.9%
ない	284	52.1%	年に 1 回程度	69	26.7%
未選択	3	0.6%	月に 2～3 回	22	8.5%
計	545	100.0%	月に 1 回程度	18	7.0%
			週に 1 回以上	3	1.2%
			その他（数年に 1 度）	72	27.9%
			未選択	2	0.8%
			計	258	100.0%

## (3) 利用したことのあるサービスと満足度

最も多く利用されているサービスは図書、新聞等の閲覧、貸出、本の予約等で 89.5%にのぼり、このサービスを利用した 87.6%が「満足している」と回答した。一方、「満足していない」と回答したサービスの中でもこのサービスが最も多かった。

利用したことのあるサービス（複数回答可）	回答数	回答率	満足	不満足
図書、新聞、雑誌等の閲覧、貸出、本の予約、コピーサービス	231	89.5%	148	11
学習室の利用	68	26.4%	29	4
HP での情報検索や My ライブラリによる図書の貸出予約等	30	11.6%	25	2
他の図書館からの図書、雑誌やコピーの取り寄せ	23	8.9%	14	0
子ども向け行事や、子どもの読書に関する研修会等への参加	20	7.8%	12	1
古文書・古記録・絵図などの閲覧・調査	17	6.6%	12	1
市町村図書館等を窓口にした資料の貸出・返却サービスの利用	15	5.8%	9	1
文化講座、法律やビジネス関係の講演会や相談会への参加	12	4.7%	18	0
図書等に係る調査・相談サービス	10	3.9%	11	1
法情報検索、新聞記事検索等の商用データベースの利用	10	3.9%	6	1
団体向けの図書貸出サービス	2	0.8%	1	0
高齢者・障がい者を対象とした図書や郵送貸出サービスの利用	1	0.4%	1	0
その他（休憩コーナーの利用など）	4	1.6%	2	3
回答対象者数	258		169	20



#### (4) サービスを利用したことがない理由

県立図書館のサービスを利用したことがない理由として、遠方に住んでいるなど地理的なこと以外に、県立図書館が行っているサービスを知らないことを理由にした人が27.5%にのぼり、サービスに関する広報が十分でないことがわかった。

サービスを利用したことがない理由（複数回答可）	回答数	回答率
島根県立図書館が居住地から遠方にあり、交通の便も悪いため	190	66.9%
近隣の市町村立図書館を利用するため	125	44.0%
島根県立図書館が行っているサービスについて知らない	78	27.5%
必要な図書は自分で購入するため	56	19.7%
必要な情報はインターネット等で間に合うため	52	18.3%
特に理由はない	20	7.0%
図書や雑誌を読まないため	16	5.6%
希望するサービスがないため	3	1.1%
その他（県立図書館がどこにあるのか知らない など）	24	8.5%
回答対象者数	284	

(5) 蔵書として収集すべきもの

県立図書館が蔵書として収集すべきものとして、「島根県に関する資料」「専門書・学術的な資料」との回答が上位を占めた。県立図書館には、調査・研究などを目的とした専門的な資料が求められていることが伺える。

蔵書として収集すべきもの(3つまで回答可)	回答数	回答率
島根県に関する資料	328	60.2%
専門的・学術的な資料	319	58.5%
統計書、年鑑類、図鑑、事典、商用データベースなど調査用資料	208	38.2%
絵本・児童書など子ども向け資料	141	25.9%
小説などの娯楽的な資料	102	18.7%
新聞や雑誌	90	16.5%
大活字本や点字図書など障がい者等が使いやすい資料	81	14.9%
電子書籍	65	11.9%
特にない	34	6.2%
外国語で書かれた資料	33	6.1%
その他(地域づくりに関する資料 など)	18	3.3%
回答対象者数	545	

(6) 重視すべきサービスの方向性

今後重視すべきサービスの方向性を聞いたところ、市町村図書館、公民館図書館、学校図書館への支援が53.6%と最も多く、県立図書館の役割として市町村図書館等への支援を重要だと考える回答が多くみられた。

重視すべきサービスの方向性(3つまで回答可)	回答数	回答率
市町村図書館、公民館図書室、学校図書館への支援	292	53.6%
島根県に関する資料や情報の収集・保存・提供	272	49.9%
県内図書館の中核となる図書、雑誌、新聞などの資料保存機能	207	38.0%
直接来館が困難な遠隔地に住む利用者へのサービス	185	33.9%
絵本・児童書の収集や子どもの読書活動の推進、啓発	140	25.7%
高齢者、障がい者、外国人など多様な方へのサービス	84	15.4%
調査・相談などのレファレンスサービス	52	9.5%
ビジネス就業支援などの各種課題解決サービス	39	7.2%
特にない	37	6.8%
その他(居心地の良い空間 など)	29	5.3%
回答対象者数	545	

## 利用者アンケート調査結果

- 1 実施期間 令和5年8月8日（火）～9月6日（水）
- 2 調査対象 島根県立図書館利用者
- 3 調査方法 来館者用として1階玄関入口付近にアンケートと回収箱を設置  
遠隔地利用者等にはしまね電子申請サービスでの回答を依頼
- 4 回答数 122名
- 5 調査結果概要

### (1) 回答者について

性別は男性44.3%、女性45.1%とほぼ同数だったが、年齢別では70代以上が38.5%と最も多く、次いで60代が19.7%、50代が8.2%であった。地域別でみると、松江市内  
が66.4%で、サービスの利用頻度としては月に2～3回が52.5%と最も多かったことから、県立図書館をよく利用している松江市内在住の方からの回答が多く得られた。

性別	回答数	回答率
男性	54	44.3%
<b>女性</b>	<b>55</b>	<b>45.1%</b>
無回答、未選択	13	10.7%
計	122	100.0%

地域	回答数	回答率
<b>松江市内</b>	<b>81</b>	<b>66.4%</b>
松江市外	26	21.3%
無回答、未選択	15	21.3%
計	122	100.0%

年齢	回答数	回答率
10代	2	1.6%
20代	5	4.1%
30代	10	8.2%
40代	9	7.4%
50代	10	8.2%
60代	24	19.7%
<b>70代以上</b>	<b>47</b>	<b>38.5%</b>
無回答・未選択	15	12.3%
計	122	100.0%

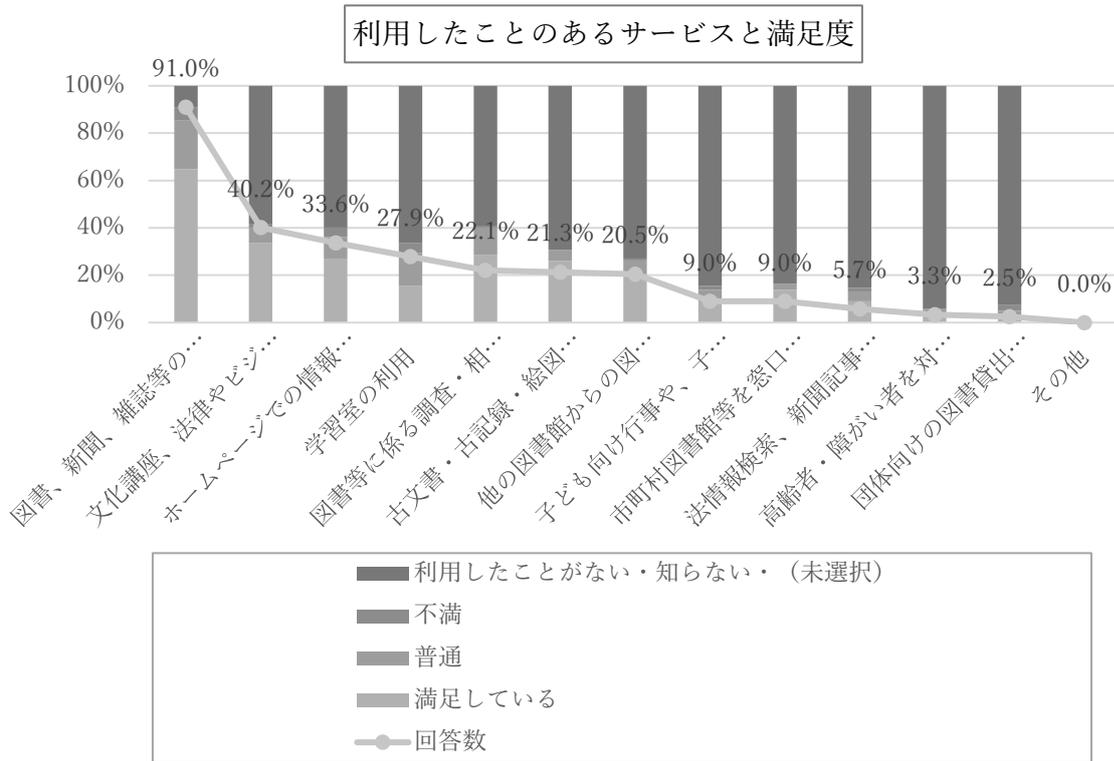
サービス利用頻度	回答数	回答率
週に1回以上	21	17.2%
<b>月に2～3回</b>	<b>64</b>	<b>52.5%</b>
月に1回程度	27	22.1%
年に数回程度	9	7.4%
年に1回程度	1	0.8%
初めて利用	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答・未選択	0	0.0%
計	122	100.0%

## (2) 利用したことのあるサービスと満足度

最も多く利用されているサービスは「図書、新聞等の閲覧、貸出等」で91.0%にのぼった。このサービスを利用した85.3%が「満足している」と回答した一方、5.7%が「不満」と回答した。

サービスの中で、「知らない・利用したことがない・(未選択)」の回答が最も多かったのは「高齢者・障がい者を対象とした図書や郵送貸出サービスの利用」で94.3%であったが、全体を通して利用されていない(知られていない)サービスが多くあり、また利用者の意見の中にも広報不足を指摘する声があったことから、より一層広報の強化を図る必要がある。そのほか、読書に関する講演会や研修会などの開催を増やしてほしいといった意見や、資料の充実を望む声が寄せられた。

利用したことのあるサービス(複数回答可)	回答数	回答率
図書、新聞、雑誌等の閲覧、貸出、本の予約、コピーサービス	111	91.0%
文化講座、法律やビジネス関係の講演会や相談会への参加	49	40.2%
ホームページでの情報検索やMyライブラリによる図書の貸出予約等	41	33.6%
学習室の利用	34	27.9%
図書等に係る調査・相談サービス	27	22.1%
古文書・古記録・絵図などの閲覧・調査	26	21.3%
他の図書館からの図書、雑誌やコピーの取り寄せ	25	20.5%
子ども向け行事や、子どもの読書に関する研修会等への参加	11	9.0%
市町村図書館等を窓口にした資料の貸出・返却サービスの利用	11	9.0%
法情報検索、新聞記事検索等の商用データベースの利用	7	5.7%
高齢者・障がい者を対象とした図書や郵送貸出サービスの利用	4	3.3%
団体向けの図書貸出サービス	3	2.5%
その他	0	0.0%
回答対象者数	122	



### (3) 蔵書として収集すべきもの

県立図書館が蔵書として収集すべきものとして、「専門書・学術的な資料」「島根県に関する資料」が多かったが、次いで比較的に読みやすい「小説などの娯楽的な資料」「新聞や雑誌」「絵本・児童書など子ども向け資料」との回答が多かった。

蔵書として収集すべきもの(3つまで回答可)	回答数	回答率
専門的・学術的な資料	76	62.3%
島根県に関する資料	66	54.1%
小説などの娯楽的な資料	33	27.0%
新聞や雑誌	27	22.1%
絵本・児童書など子ども向け資料	27	22.1%
統計書、年鑑類、図鑑、事典、商用データベースなど調査用資料	24	19.7%
大活字本や点字図書など障がい者等が使いやすい資料	15	12.3%
特にない(未選択)	10	8.2%
外国語で書かれた資料	9	7.4%
電子書籍	7	5.7%
その他(朗読CD、基本的な教養図書 など)	6	4.9%
回答対象者数	122	

#### (4) 重視すべきサービスの方向性

今後重視すべきサービスの方向性を聞いたところ、「島根県に関する資料や情報の収集・保存・提供」が最も多く47.5%で、次いで「資料保存機能」が43.4%、「市町村図書館等への支援」が41.0%と、県立図書館には資料保存や各図書館への支援といった機能や役割を望む声が多くみられた。

重視すべきサービスの方向性(3つまで回答可)	回答数	回答率
島根県に関する資料や情報の収集・保存・提供	58	47.5%
県内図書館の中核となる図書、雑誌、新聞などの資料保存機能	53	43.4%
市町村図書館、公民館図書室、学校図書館への支援	50	41.0%
直接来館が困難な遠隔地に住む利用者へのサービス	28	23.0%
調査・相談などのレファレンスサービス	26	21.3%
絵本・児童書の収集や子どもの読書活動の推進、啓発	26	21.3%
高齢者、障がい者、外国人など多様な方へのサービス	24	19.7%
特になし(未選択)	13	10.7%
その他(私立も含めた学校図書館支援 など)	7	5.7%
ビジネス就業支援などの各種課題解決サービス	6	4.9%
回答対象者数	122	

#### (5) 情報の入手方法

情報の入手方法としてはホームページが57.4%と最も多かったが、「館内外の掲示」「配布チラシ」も同様に多く、利用者に活用されていると言える。

情報の入手方法(複数回答可)	回答数	回答率
ホームページ	70	57.4%
館内外の掲示	69	56.6%
館内で配布している行事予定、チラシ	69	56.6%
特に情報は入手していない(未選択)	22	18.0%
新聞・テレビなどのお知らせや報道	15	12.3%
広報誌「図書館だより」	14	11.5%
電話による問い合わせ	7	5.7%
県内市町村立図書館の掲示やチラシ	7	5.7%
メールマガジン	3	2.5%
学校や大学の図書館の掲示やチラシ	3	2.5%
その他	0	0.0%
回答対象者数	122	

(6) 読書環境や情報環境について、その他（自由意見）

項 目	内 容
施設・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○（共通して）狭い</li> <li>○ゆったり読書ができるスペースがほしい（カフェなど）</li> <li>○座席数が少ない</li> <li>○駐車場が狭い、拡充して欲しい</li> <li>○冷房の効きが悪い</li> <li>○WiFi が弱い</li> <li>○館内が暗い、照明を明るくして欲しい</li> <li>○自販機前のトイレが落ち着かない</li> <li>○選んだ本を持ち運べるカートがあればいい</li> <li>○外観や建物自体は素晴らしい誇れる物であると思う。段差の多さなど、バリアフリーを進めて欲しい。</li> <li>○開館時間を長くして欲しい</li> <li>○建て替えを検討して欲しい</li> </ul>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本が古い、ベストセラーは揃えて欲しい</li> <li>○専門書を増やして欲しい</li> <li>○子どもの本を増やして欲しい</li> <li>○郷土資料は貸出不可の本が多いので、貸出可能な本を増やして欲しい</li> <li>○資料のデジタル化を進めて欲しい</li> <li>○個人で買えない高価な本、珍しい本</li> </ul>
サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○レファレンスの充実、親切に対応して欲しい</li> <li>○予約している本の順番がなかなか回ってこないのを増冊して欲しい</li> <li>○1階にもカウンターをおき、人を配置して欲しい</li> <li>○県立図書館としての役割を果たし、よりよい読書環境をつくって欲しい</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県立図書館としての役割を果たし、よりよい読書環境をつくって欲しい</li> <li>○アンケートをとり、業務について改善をしたいと考えている点に好感を持った。利用の仕方に制限が多いと行きにくいと感じる。</li> <li>○本を探しに行くための図書館ではなく、図書館に行くことが目的となるようなワクワクする図書館になって欲しい。</li> </ul>

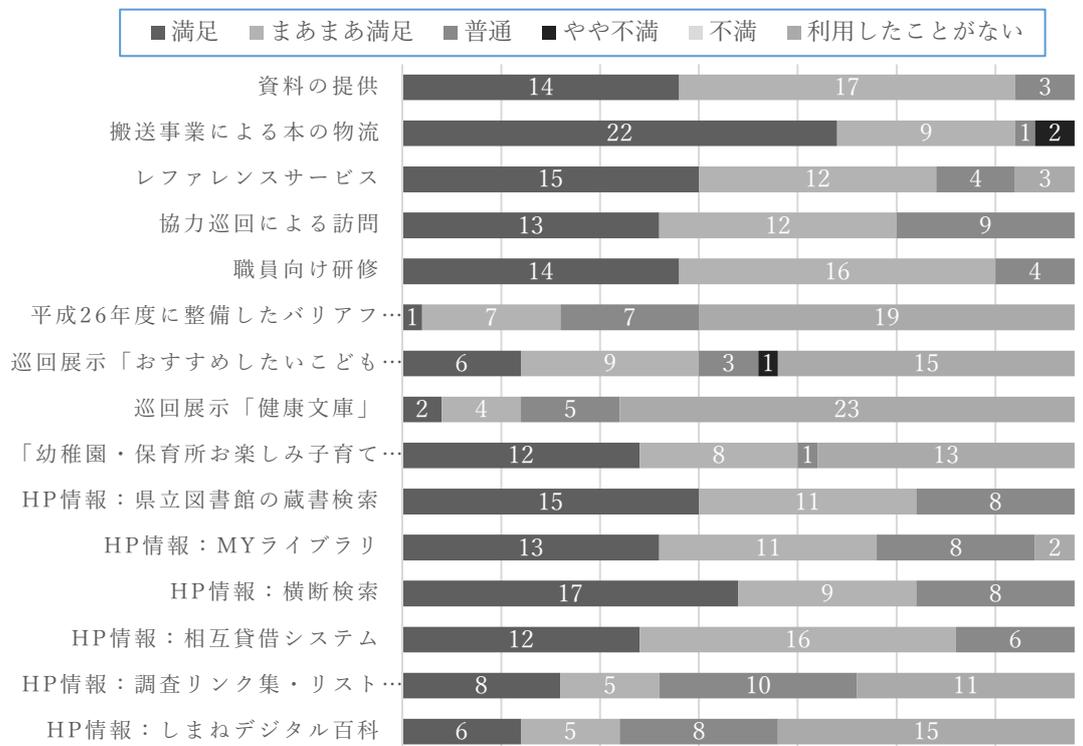
## 市町村図書館アンケート調査結果

- 1 実施期間 令和5年8月8日（火）～9月15日（金）
- 2 調査対象 島根県内市町村図書館等（39館）
- 3 調査方法 各図書館等に調査用紙をメールで送付。回答はメール、FAX、しまね電子申請サービスで回収
- 4 回収状況 34館（19市町村より回答を得たが、中央館が代表で回答する場合があるため）87.1%
- 5 調査結果概要

### （1）県立図書館が行っている事業に対する満足度

「資料の提供」「搬送事業による本の物流」「協力巡回による訪問」「職員向け研修」、またHPによる情報提供では「県立図書館の蔵書検索」「相互貸借システム」「横断検索」は、すべての館が利用しており満足度も高かった。一方、巡回展示などセットで貸出を行う事業の中には、「利用したことがない」と回答した図書館が半数を超えるものもあった。

### 事業の満足度



(2) 蔵書として収集すべきもの

県立図書館が蔵書として収集すべきものとして、「島根県に関する資料」「専門書・学術的な資料」と回答した館が多かった。

蔵書として収集すべきもの(3つまで回答可)	回答数	回答率
島根県に関する資料	29	85.3%
専門的・学術的な資料	25	73.5%
統計書、年鑑類、図鑑、事典、商用データベースなど調査用資料	11	32.4%
大活字本や点字図書など障がい者等が使いやすい資料	9	26.5%
絵本・児童書など子ども向け資料	6	17.6%
小説などの娯楽的な資料	5	14.7%
新聞や雑誌	4	11.8%
外国語で書かれた資料	4	11.8%
電子書籍	2	5.9%
その他(今の感じでお願ひします)	1	2.9%
特にない	0	0%
回答対象館数	34	

(3) 重視すべきサービスの方向性

今後重視すべきサービスの方向性を聞いたところ、「郷土資料の保存、提供」「資料の充実」については7割を超える館が重視すべきと回答した。また、「レファレンス機能の充実」「人材育成を目的とした研修の実施」「運営相談」といった、人が介在する事業についても3割の館が重視すべきと回答した。

重視すべきサービスの方向性(3つまで回答可)	回答数	回答率
郷土資料の保存、提供	25	73.5%
資料の充実	24	70.6%
レファレンス機能の充実	11	32.4%
本の物流(搬送便)	9	26.5%
人材育成を目的とした研修の実施	9	26.5%
運営相談	7	20.6%
そのほか(電子書籍の整備、提供)	7	20.6%
大学や学校など館種を超えた図書館ネットワークの充実	4	11.8%
先進的な取組事例の提供	3	8.8%
子どもの読書に関する普及啓発	2	5.9%
回答対象館数	34	